

北海道ゴルフ 2024、25



2024 年 7 月、2025 年 7 月

旅のチカラ研究所 植木圭二

2024 年初夏、ゴルフとグルメを目的に北海道に行ってきた。そのため交通費と宿泊費を抑えるという旅のスタイルをとった。これは他の旅にも応用できると思い、ここで紹介したい。

さらに翌年もグレードアップして行ってきたので追記した。

■旅の目的

今回の旅の目的は北海道でゴルフとグルメを楽しむことで、その目的のために交通費や宿泊費といういわゆる旅の基本費用を抑えるというメリハリある計画を立てた。

このメリハリという言葉は大変便利で、貧乏旅行でも格好がつくからありがたい。いや、恰好の問題ではないか。お金は使う時は使い、節約する時は節約することが肝要で、そのダイナミックな使い方で感動が生まれ思い出にも残ることが多々ある。

私は過去に 10 回程度、ゴルフで北海道を訪れているが、それらは旅行会社のゴルフパッケージツアーか、飛行機とホテルだけのフリープランを利用していた。今回はどれだけ基本費用を抑えられるか試したく旅行会社を一切通さない個人旅行で計画した。

■飛行機

統計によると旅行費用全体に占める支出割合の第 1 位が交通費、第 2 位が宿泊費になっており、そして飲食費や土産物代が続く。そこで私は、まずは交通費それも飛行機代に注目した。

飛行機代を安くするために LCC (Low Cost Carrier : 格安航空) の「ピーチ」を選んだ。ピーチは季節や曜日によっては東京から北海道への最安値 3980 円などと宣伝している。

しかしこれには消費税や支払手数料が含まれず、座席指定も預け荷物も別途費用がかかる。座席や荷物はともかくも消費税は法律なので支払わないといけない。支払手数料はどんな支払い方法でもそれなりの手数料がとられるから、私はこの価格表示は納得できない。

それはさておき、それら必要費用を加えて季節や時間帯を考慮すると結構高くなってしまいが、それでも大手航空会社に比べればかなり安い。

ピーチの発着は羽田空港ではなく成田空港なので、神奈川県に住む私にとっては空港までのアクセス費用や時間も問題になる。特に朝早い便は間に合わない。そこで今回参加メンバーは私を含めて全員近所に住んでいるので、1 台の車で成田空港に行くことにして時間の心配をなくし、交通費も電車で行くよりも安くなる。

さらに車なのでゴルフバッグを持参し飛行機の預け荷物とした。北海道に着いてしまえばレンタカーを借りるのでゴルフバッグは車に積みっぱなしにするから空港内だけ持ち運べばよい。最近では“2024 年問題”で宅配便も高騰しており、北海道へゴルフバッグを送ると片道で 3000 円以上になる。ピーチでゴルフバッグを預けると別途 2200 円必要だが、それでも宅急便よりも安い。

ピーチを予約して、しばらくしてから全日空（ANA）のタイムセールがあつて、ピーチと同じくらいの価格で北海道へ行けることが分かった。しかし私が予約したピーチの最も安いチケットはキャンセルしても 1 円も戻ってこないから、そのため ANA への変更は諦めた。ちなみに ANA などの大手航空会社はゴルフバッグも 20kg 以下ならば無料で預けられる。

■駐車場

車で成田空港に行くので駐車場が必要になる。空港近くの民間の駐車場はどれも似たようなものだがサービスによってかなり価格差がある。特に空港に自分の車で乗り付け、帰って来た時に空港までその車を持ってきてくれるサービスは便利で、私も子供たちが幼い頃に海外旅行に行った時には使っていた。ただしそれなりの費用がかかる。

一般的な料金体系は、まず基本料金があつてそれに 1 日当たりの料金が加算され、駐車場から空港までの送迎方法や洗車の有無などの料金が加算される。

同じ会社でも価格が大きくかわるので、同じ条件つまり“apple to apple”で各社を比べないと意味がない。

この apple to apple という表現はビジネスでよく使われ、日本語の“同じ土俵”と同意語だが、分かり易いので私はよく使っている。確かにリンゴとミカンで大きさや甘さを比較しても意味がないが、リンゴとリンゴならば比べる意味がある。

今回は全く同じ条件になるようにして数社を調べた。その上でリピート率が高いという評判の「ABC パーキング」を選んだ。おそらくここが成田空港周辺の駐車場の最安値かもしれない。

■宿泊費

交通費の次は宿泊費が問題になる。まず、私の脳裏に浮かんだのは 2 週間前に行った北海道の離島の旅で泊まった「アパホテル&リゾート札幌」だ。このホテルはリゾート施設なので豪華な部屋や朝食、大浴場も魅力的で、早期予約ならば 1 人 7000 円程で泊まれる。

ただ同行メンバーの中に札幌の歓楽街“すすきの”が大好きな人間がいて、すすきのへの利便性も考慮しないといけない。ホテルからすすきのへの往復のシャトルバスは出ているものの、彼があまり良い顔をしないので没になった。

私は昨年も北海道ゴルフ旅行をしており、その時は旅行会社のフリープランを利用して泊まった「ホテルリソル札幌中島公園」は比較的安くて、すすきのまで徒歩圏で設備もそれなり良かった。

ただし立地環境に多少難があり、すすきのまで歩いて 10 分くらいなのでラブホテルが多くある。その中には 2023 年 7 月に発生した猟奇的な殺人事件（男性の首が切断され、犯人の女性が頭部を持ち去った事件）の現場になったラブホテルもある。しかし、すすきの大好きな彼はそんな事件も全く意に介さず、むしろそこがよいと言い始めた。彼はそのことも“ネタ話”にするのだろう。

あとは価格の問題になる。ツインルームにエキストラベッドを追加し 3 人部屋にして、朝食をなくして素泊まりにするとかなり安くなった。ゴルフなので早朝に宿を出ることが多く、プレー後はゴルフ場の大浴場に入るからホテルは寝るだけだと割り切った。

やはり旅は目的によって実現手段が変わる。私の経験からすれば、旅を企画する時はもちろん、実際に現地で問題が発生しても旅の目的に照らし合わせればおのずと解が見えてくるものだ。

■ ゴルフ

今回の旅は 2 泊 3 日で、ゴルフは 3 ラウンド行った。もちろん違うゴルフ場なので、空港でレンタカーを借りて、その機動力を生かした。

北海道特有のねっとりした芝には苦勞したが、広いフェアウェイは実に雄大で素晴らしい。ゴルフ好きならば、たまにはこのような環境でやった方がいい。これもまたメリハリだろう。

今回初めて使った「クラークカントリークラブ」は、若い新人キャディとその指導役としてベテランキャディが付いた。もちろんキャディフィーは 1 人分だから、ラッキーと言っていいだろう。よく動く初々しい新人と経験・知識が豊富なベテランの両方に接することができて実に良かった。

この 2 人を見ていて私は、刑事ドラマの新米刑事とベテラン刑事のコンビを思い出した。好奇心旺盛でチャレンジングな若い刑事と経験豊富で冷静で老獪なベテラン刑事とが助け合って事件を解決するもので、これは刑事という職業に限ったことではなくいろいろな職業にも通じるだろうと感じた。

このように相反するような 2 つの魅力がもしも 1 人の人間に両方備わっていれば、その人間は常に成長していけるかもしれない。そんなことを考えていたら、私はある人物の顔が頭に浮かんだ。それは大リーガーの大谷翔平だ。彼の魅力や実力の秘密が分かったような気がした。

それにしても私たちのゴルフは、強風も影響して散々だった。

昨年プレーして綺麗な景色と整備状況に感動した「随縁カントリークラブ恵庭コース」は今年も期待を裏切らなかった。

その綺麗なフェアウェイで面白いものを見つけた。直径 1m くらい高さ 30 cm くらいの円柱状のもので、最初は動物かと思ったが、動物にしては動きが機械的で、よく見るとそれは自動草刈機

だった。家庭用の掃除ロボットを2回くらい大きくしたもので、草を刈っている。

私が電機メーカを定年退職して10年近くなり、電機業界とは疎遠になっているが、今ではこんなものまで開発されて実用化されていることに驚いてしまった。

有名な「ニドムクラシック」は過去何回も使っているが、今回あまり感動がなかった。他のメンバーも同様な意見だったので、何十年も高評価を続けるのは難しいのだろう。やはり栄枯盛衰なのか。

先ほどのキャディの例え話でいえば、老獺で百戦錬磨だけではだめで、初々しさもこのゴルフ場には必要なかもしれない。

■ グルメ

北海道と言えばジンギスカン鍋だが、私は2カ月前に盛岡の「羊屋えびす盛岡店」で食べた“ラム生肩ロース肉”と“スーパーレアのラムヒレ肉”が忘れられずにいた。そして2週間前には札幌の姉妹店「羊屋えびす札幌別邸」を訪れ、そして今回は「羊屋えびす札幌本店」を訪れた。

この店のラム肉、特にラムヒレ肉は絶品で、今回一緒に食べたすすきの大好きな彼も絶賛していた。(料理の詳細は旅行記「青森・岩日帰り旅 2024」と「北海道の島旅 2024」参照)

北海料理店「古艦帆来 (コロボックル)」はジンギスカン鍋以外のほとんどの北海道料理が味わえて、なかなかお洒落な店なのでいつも賑わっている。もちろん予約なしではとても入れない、そして予約もなかなか取れない。広い店なので大手旅行会社のツアーも利用しているようで、ガイドに連れられて団体客も来ている。隠れた名店ではないが万人受けする人気店といった方が良さそう。

この店で食べた“真ホッケ”と“本物のシシャモ”が美味かった。

実は、この2つの魚は北海道に来ないと食べられない。

一般に本州で出回っているホッケは縞ホッケで、ロシア産が多い。真ホッケは北海道で獲れて北海道内での消費がほとんどだから北海道に来ないと食べられない。大味の縞ホッケに比べて真ホッケは脂がやや少なめで身がしまっている。

シシャモも普通にスーパーで売っているのはカラフトシシャモと呼ばれるもので、実はロシアや北欧などで多く獲れるカペリンという魚でシシャモではない。本物のシシャモは日本だけ、それも北海道南部の太平洋側でのみ獲れるので、本州はもちろん北海道でもあまり流通していない。鮭と同じ回遊魚で、川で産卵し海へ出て成長してまた川へ戻ってくる。

札幌と言えば味噌ラーメンだろう。すすきのには人気ラーメン店がたくさんあり、店の前にはいつも行列ができています。

今回はその中の「けやき」本店を訪れた。短時間だがもちろん並んで入店した。狭い店内にはカウンター席が9席あるだけで、これでは並ぶのは致し方ないのかもしれない。それでも多くの人たちが並ぶのだからどうしてもその味に期待してしまう。

そして店はその期待を裏切らなかった。豚鶏出汁の濃厚な味噌スープに中細のちぢれ麺が絡み、シャキシャキした白髪ネギと炒めた野菜がマッチしており、実にいい味に仕上がっていた。

隣の席で食べていた常連らしい北海道民に話を聞いたら、冬の寒い時期に外で並んでからこの熱々で濃厚な味噌ラーメンを食べるのが最高だと言っていた。これもまたメリハリだろう。

■メリハリの検証

メリハリについて、今回の旅を費用の面で振り返ってみる。

旅行会社のフリープランは飛行機とホテルしかついていないから、それと **apple to apple** になるように計算すると、今回の 2 泊 3 日の旅は約 27400 円になった。これはまずまずの金額だろう。

旅の基本費用を安く抑えたので遊興費のゴルフと飲食につぎ込むことができ、その遊興費総額は約 63000 円になった。基本費用の 2 倍以上も遊興費に使ったことになる。メリハリとはそういうものだろう。特出していないとメリハリとは言えない。

■旅の記録

実施は 2024 年 7 月 1 日（月）～7 月 3 日（水）の 2 泊 3 日、その行程を示す。

- ・ 1 日目 4 時に自宅を友人の車で出発、成田空港近くの「ABC パーキング」に車を預け、
7 時 45 分成田空港発のピーチ便に乗り 9 時 35 分新千歳空港着
レンタカーを借りて、北海道ラーメン「久楽 北広島店」で昼食
「クラークカントリークラブ」でゴルフ、
「ホテルリソル札幌中島公園」チェックイン、すすきのに繰り出し
ジンギスカン料理店「羊屋えびす札幌本店」、ラーメン屋「けやき」で食べる
- ・ 2 日目 7 時に宿出発、「随縁カントリークラブ恵庭コース」でゴルフ、16 時ホテルに戻り、
すすきのの北海料理「古艦帆来（コロボックル）」で夕食、バーで飲む
- ・ 3 日目 5 時 30 分に宿を出発、「ニドムクラシック」でゴルフ、
14 時 15 分新千歳空港発のピーチ便に乗り 16 時成田空港着、
パーキングに預けてあった友人の車に乗り 19 時 30 分帰宅

ゴルフ代や飲食費を除いた交通費と宿泊費は 1 人当たり 37517 円、それにゴルフ代や飲食費などを加えると 98600 円になった。

・ 交通費 27450 円

飛行機	17300 円（成田・新千歳ピーチ往復 ゴルフバック送料別途発生）
レンタカー	5354 円（オリックスレンタカー3 日間 1 台分 16060 円の 1/3）
同ガソリン代	574 円（北海道内走行 1 台分 1723 円の 1/3）
同高速道路代	510 円（北海道内走行 1 台分 1530 円の 1/3）
成田パーキング	612 円（ABC パーキング 3 日間 1 台分 1837 円の 1/3）
ガソリン代	633 円（自宅～成田往復 1 台分 1900 円の 1/3）
高速道路代	2467 円（自宅～成田往復 1 台分 7400 円の 1/3）

・ 宿泊 2 泊で 10067 円

ホテル	9000 円（リソル札幌中島公園 素泊まり 1 泊 4500 円/人）
ホテル駐車料金	1067 円（1 台 2 泊分 3200 円の 1/3）

・ゴルフ関連 44470 円

クラークカントリークラブ	12210 円（キャディ付き スループレー）
随縁カントリークラブ恵庭コース	16210 円（セルフ スループレー）
ニドムクラシック イコロコース	11650 円（セルフ スループレー）
ゴルフバック送料	4400 円（ピーチの預け荷物代 往復）

・飲食費など 約 18600 円

羊屋えびす札幌本店	4600 円（1 人分 酒類含む）
コロボックル	4000 円（1 人分 酒類含む）
その他昼食や飲み代など	約 8000 円（1 人分 酒類含む）

2025 年 7 月 追記

■2025 年の旅の基本費用

今年（2025 年）も北海道ゴルフ旅行に行ってきた。

まずは昨年と比べて交通費と宿泊費という旅の基本費用について触れておこう。

今年は宿泊を 1 泊延長して 3 泊とした。これによって札幌の夜を 3 晩楽しむことができた。その増えた 1 泊は昨年諦めた「アパホテル&リゾート札幌」にした。すすきのから遠いことが課題だったが、そう毎日すすきのへ繰り出すことも財力や体力も続かないから、同行メンバーの“すすきの大好き人間”も歓迎してくれた。

このホテルは朝食無し 7 千円台で泊まれるホテルだが、レベルとしては全く申し分ない。エンタランスや大浴場が豪華で、リゾート感いっぱいと言っていいだろう。

2000 円を追加して朝食を食べたが、豪華なビュッフェスタイルの朝食で和食に洋食に中華もあって、郷土料理も揃っている。味はもちろん美味い。

札幌の中心部から遠い真駒内なので大きな駐車場がある。そのため大型観光バスの団体客が多く、宿泊客の半分以上は中国人団体客のようで、日本にいたことが忘れそうになる時もあるほどだった。

飛行機はピーチではなく、全日空（ANA）のタイムセールを利用した。往復 17480 円でピーチとほぼ同額だが、ゴルフバッグの機内預け料金が無料なので実質 4400 円安くなり、さらに羽田空港発着なので利便性も良く、空港までの交通費を抑えることができた。

駐車場は羽田空港内駐車場を利用した。空港に直結しているので、ゴルフバッグを空港の荷物カートに乗せて運べるというメリットもある。

■遊興費用

ゴルフ場については、昨年と同じコースは「随縁カントリークラブ恵庭コース」だけだが、昨年よりも天候に恵まれたために陽光を受けて木々や芝生、池のコントラストがはっきりして良さが際立っていた。

それに対して今回初めて利用した「ユニ東武ゴルフ場」は天気が良いがゆえにコースメンテがなっていないことが、晴天白日の下にさらされてがっかりする結果となった。

「新奈井江カントリークラブ」は札幌から約 70km もあり、車で約 1 時間と遠い。しかしプレー費は 5 千円台という低価格で、その割にコースは良かった。コストパフォーマンス抜群で、メリハリという意味でも評価できる。

飲食について書いておこう。

中島公園駅近くのレストラン「ノアの箱舟」は店名もユニークだが、外観も内部もユニークで洒落た造りをしている。すすきのからやや遠いから比較的空いており、予約なしでも入店できた。

特徴的なのは料理の提供スタイルで、新鮮な魚貝類をお客の目の前でスタッフが焼いてくれる。ナイフや料理バサミの使い方が実に見事で、感心してしまう。焼き具合や味付けももちろん素晴らしかった。

有名なサッポロビール園に久しぶりに行った。ここもインバウンドを中心に観光客が多いが、何と言っても大きいので、予約なしで入れた。

もちろん生ビールは最高に美味しい。生ラム肉のジンギスカン料理は一定のレベルを確保しているので安心して食べることができた。

■旅の記録

実施は 2024 年 7 月 7 日（月）～7 月 10 日（木）の 3 泊 4 日、その行程を示す。

- ・ 1 日目 5 時に自宅を友人の車で出発、羽田空港内駐車場に停め、
8 時 30 分羽田空港発の ANA 便に乗り 9 時 30 分新千歳空港着
レンタカーを借りて、「ユニ東武ゴルフ場」で昼食とゴルフ
「アパホテル&リゾート札幌」にチェックイン、
宿の近くの回転寿司「函館漁火」とラーメン屋「味の時計台」で夕食
- ・ 2 日目 10 時に宿を出発、「随縁カントリークラブ恵庭コース」でゴルフ、
「ホテルリソル札幌中島公園」チェックイン、
夕食は宿近くの「ノアの箱舟」、その後すすきのに繰り出す
- ・ 3 日目 6 時 30 分に宿を出発、途中で朝食、「新奈井江カントリークラブ」でゴルフ、
「サッポロビール園」で夕食、「ホテルリソル札幌中島公園」に連泊
- ・ 4 日目 8 時に宿を出て、空港内の「キタカレー」で昼食、
11 時 30 分新千歳空港発の ANA 便に乗り 13 時 10 分羽田空港着、15 時帰宅

ゴルフ代や飲食費を除いた交通費と宿泊費は 1 人当たり 51163 円、それにゴルフ代や飲食費などを加えると約 108000 円になった。

・ 交通費 29379 円

飛行機	17480 円 (羽田-新千歳 ANA 往復 ゴルフバック持ち込み無料)
レンタカー	6490 円 (オリックスレンタカー4 日間 1 台分 19470 円の 1/3)
同ガソリン代	1076 円 (北海道内走行 1 台分 3229 円の 1/3)
同高速道路代	1313 円 (北海道内走行 1 台分 3940 円の 1/3)
成田パーキング	2040 円 (空港内駐車場 4 日間 1 台分 6120 円の 1/3)
ガソリン代	333 円 (自宅～羽田往復 1 台分 1000 円の 1/3)
高速道路代	647 円 (自宅～羽田往復 1 台分 1940 円の 1/3)

・ 宿泊 3 泊で 21747 円

アパホテル&リゾート札幌	9480 円 (朝食付き、駐車場無料)
リソルホテル札幌中島公園	11200 円 (2 泊 素泊まり 1 泊 5600 円)
リソルホテル札幌中島公園駐車料金	1067 円 (1 台 2 泊分 3200 円の 1/3)

・ ゴルフ関連 33410 円

ユニ東武ゴルフ場	12350 円 (昼食付セルフ スループレー)
随縁カントリークラブ恵庭コース	15230 円 (セルフ スループレー)
新奈井江カントリークラブ	5830 円 (セルフ スループレー)

・ 飲食費など 約 23100 円

サッポロビール園	4950 円 (1 人分 酒類含む)
ノアの箱舟	8153 円 (1 人分 酒類含む)
その他昼食や飲み代など	約 10000 円 (1 人分 酒類含む)